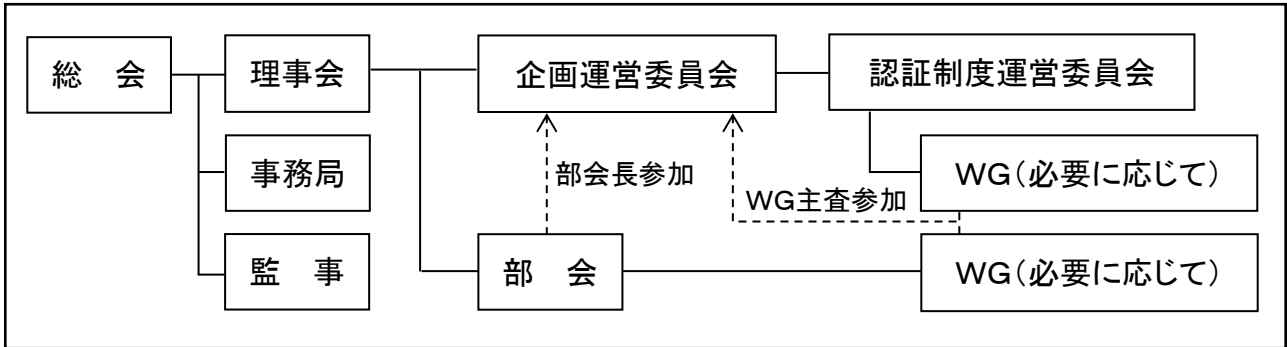


令和2年度 事業報告

(1) 組織



(2) 役員構成

理事長	森山 正和 (神戸大学 名誉教授)
副理事長	吉田 篤正 (大阪府立大学大学院 教授)
理事	西村 伸也 (大阪市立大学大学院 教授) 増田 昇 (大阪府立大学 名誉教授) 楠井 祐子 (大阪ガス株式会社 企画部 ESG 推進室長) 藤本 啓史 (関西電力株式会社 エネルギー・環境企画室 環境マネジメントグループ チーフマネージャー)
監事	長町 憲一 (大阪府 環境農林水産部 エネルギー政策課長) 井原 優子 (大阪市 環境局 環境施策部長)

(敬称略)

(3) 活動実績

(1) 理事会及び総会の開催

理事会（令和2年7月21日）及び総会（書面）（令和2年8月13日）を開催し、令和元年度事業報告・収支決算、令和2年度事業計画（案）・収支予算（案）、部会・WG等の新組織体制、会則の改定、理事の選任について議論し、承認を得た。

(2) 企画運営委員会の開催

第1回企画運営委員会（令和2年7月2日）では、部会・WG等の今後の組織体制、献本、理事会及び総会に係る議案書（案）等について、また、第2回企画運営委員会（令和3年3月9日）では、令和2年度の決算予定や活動実績等について議論した。

(3) 部会・WGの開催

第1回部会（令和2年11月11日）では、各WG（モデル街区WG＋空間評価WG・合同WG、都市デザインWG、排熱低減WG、技術評価WG）の事業計画案及び情報提供等について、また、第2回部会（令和3年3月9日）では、各WGの事業報告及び次年度事業計画案等について報告・議論した。

また、モデル街区WG＋空間評価WG・合同WGは計3回、都市デザインWGは計2回、排熱低減WGは計1回、技術評価WGは計6回開催した。

(4) 認証制度運営委員会の開催

第1回認証制度運営委員会（令和3年3月9日）では、「JIS A 1494 建築窓ガラス用フィルムの再帰性日射反射性能の測定方法」の制定及びWGの再編に伴い、ヒートアイランド対策技術認証制度 申し込み案内の改訂について議論し、承認を得た。

(5) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナーを開催した。

開催日時：令和2年11月11日 13時30分から15時00分

開催方法：Web

内 容：「暑熱環境に適応したまちづくりについて」

講演：三坂育正氏（日本工業大学 建築学部 建築学科 教授）

「作業現場における暑さ対策の実践事例について」

講演：赤川宏幸氏（株式会社大林組 技術研究所 都市環境技術研究部 主席技師）

参加者：61名

(6) 活動内容の周知

ニュースレター『大阪HITEC NEWS Vol. 17』を令和3年3月に発行した。

(7) ホームページの充実

コンソーシアムの活動成果等について、随時更新した。

(8) 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布

認証企業の情報を更新し、関係各所に配布した。

(9) コンソーシアム等の認知度・ブランド力の向上

猛暑対策展等のイベントで活動紹介及び会員募集のパンフレットを配架し、コンソーシアムのPRを実施した。

(10) スマートアンブレラデザインコンペの実行委員会に参画

暑い大阪の新たな街並み形成に向けて、2025年大阪・関西万博開催に相応しく、市民が安心して賑わうことができ、都市の木質化や暑熱対策となる都市のデザインアイデアを求める「スマートアンブレラデザインコンペ」の実行委員会に参画した。

【部会】

部会長：吉田篤正（大阪府立大学大学院 教授）

1. 令和2年度事業内容

- (1) H I T E C組織の改編並びにWGの再編について議論した。
- (2) 令和2年度（今後）のWG活動について議論した。
- (3) 近畿広域協議会の暑熱分科会について議論した。
- (4) 令和2年度WG活動報告及び令和3年度WG活動計画について議論した。

2. 令和2年度活動状況

第1回 令和2年11月11日

第2回 令和3年3月9日

【モデル街区WG＋空間評価WG・合同WG】

モデル街区WG主査 竹林英樹（神戸大学大学院 准教授）

空間評価WG主査 吉田伸治（奈良女子大学大学院 准教授）

1. 令和2年度事業内容

- (1) 合同WGの活動方針、万博会場も視野に入れたモデル街区の設定について議論した。
- (2) 神戸市と連携した暑熱環境評価及び暑さ対策の事例が紹介された。
- (3) 空間の暑熱環境評価方法の整理と課題について議論した。
- (4) 大阪府クールスポットモデル推進事業実施箇所をモデル街区とする可能性を議論した。

2. 令和2年度活動状況

第1回 令和2年10月5日

第2回 令和2年12月10日

第3回 令和3年2月24日

3. 事業計画における今後の方針

- ・大阪府クールスポットモデル推進事業実施箇所をモデル街区として、種々の暑さ対策の導入効果を評価・検討する。
- ・空間の暑熱環境評価方法を整理し、具体的な検討結果について議論する。
- ・万博会場の基本計画等について情報収集を行い、合同WGとして暑さ対策提案の可能性を検討する。

【都市デザインWG】

都市デザインWG主査 鍋島美奈子（大阪市立大学大学院 教授）

1. 令和2年度事業内容

空間認証制度を新設することを念頭に、クールスポットのラベリング制度について検討していくこととし、評価指標や計測方法について議論を行った。

また、クールスポット評価のケーススタディとして、梅田スカイビル及び大日駅前広場を対象にデータを取得し、評価指標の課題について整理・検討した。

2. 令和2年度活動状況

第1回 令和2年10月29日

第2回 令和3年1月15日

3. 事業計画における今後の方針

クールスポットのラベリング制度の実用化に向けて、技術評価WGと連携し、計測データ取得方法及び分析方法に関するガイドラインの整備を行った。

【排熱低減WG】

排熱低減WG主査 西村伸也（大阪市立大学大学院 教授）

1. 令和2年度事業内容

- （1）人工排熱の大気熱負荷削減について、削減技術の調査と定量的な評価を行うとともに、技術の普及促進策について検討した。
- （2）低温の未利用の人工排熱の有効活用策についても検討した。
- （3）新型コロナウイルス感染予防策として換気が重要視されていることから、大量換気が室内環境とエネルギー消費に及ぼすであろうトレードオフの関係についても検討を加え、大量換気下における室内での熱中症の発生予測や空調換気システムの利用と新型コロナウイルスの生存・抑制策についても調査した。

2. 令和2年度活動状況

第1回 令和2年10月29日

3. 事業計画における今後の方針

- ・人工排熱の大気熱負荷削減方法の効果検証
- ・熱有効&人工排熱提言に関する情報収集・調査，並びに検討，広報
- ・カーボンニュートラル政策におけるヒートアイランド対策技術の評価・検証

【技術評価WG】

技術評価WG主査 西岡真稔（大阪市立大学大学院 教授）

1. 令和2年度事業内容

- （1）再帰性反射認定試験法の改訂
- （2）評価対象技術の選定・枠組み、評価方法の検討

2. 令和2年度活動状況

- 第1回 令和2年9月17日
- 第2回 令和2年10月26日
- 第3回 令和2年12月2日
- 第4回 令和2年12月23日
- 第5回 令和3年2月2日
- 第6回 令和3年3月19日

3. 事業計画における今後の方針

日除け、ミスト、その他街区における人への熱的負荷軽減に資する技術を対象に、性能評価方法を提案する。

令和2年度の検討結果に基づき、市販のWBGTセンサーを用いた実測方法・評価法について具体化を進める。試験方法については、WGにおいて実施することも検討する。

【熱負荷評価手法WG】

熱負荷評価手法WG主査 芝池英樹（京都工芸繊維大学 准教授）

1. 令和2年度事業内容

引き続き、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーション手法についての検討を行う。

2. 令和2年度活動状況

大阪 HITEC ヒートアイランド対策技術認証制度で新たに対象となった技術（再帰性高日射反射率外壁材、同窓フィルム）について、標準的な条件でのシミュレーションプログラム WUFI Pro での性能評価を可能すべく、入力条件や表面放射特性の組み込み方法等を継続して検討している。

特に、鉛直壁面での認証技術の評価に関しては、利用する高さを低層（10m以下）、中層（10～20m）、高層（20m以上）に三分類し、また、敷地は商業地域として、評価する壁面が面する前面道路幅や対向建物高さ等の平均幾何形状を街路統計から特定し、統一的に評価することを検討する。

3. 事業計画における今後の方針

引き続き、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関する WUFI Pro を主カシミュレーションツールに据えて、入力パラメータの調整や入力条件の整備等についての検討を行う。